

南箕輪村第6次総合計画 前期基本計画（案）に関するパブリックコメント

ご意見：1件

内容
<p>令和17年度（2035年度）の目標人口が16,500人と増える想定となっています。何らかのデータがなければ推計できないので、これはこれで仕方がないのですが、2024年は自然増減、社会増減ともに減少に転じるという今までにない結果となっています。</p> <p>自然増減数は令和に入り出生数やや減少、それに対し死亡数が増加をしてくているため逆転し、減少に転じており、この先、団塊の世代が平均寿命を超える世代となってくると死亡数の増加はしばらく続くと考えられ、年少人口を維持し続けられない限り、自然減の減少幅は増加すると考えられます。</p> <p>一方社会増減も、2024年に減少に転じており、2025年も10月までで△46人と2年連続で社会減になることは確実な状況です。</p> <p>景気などの要因がない中で2年連続減少に転じているということは、今後他の自治体と同様に人口減少のフェーズに入ったと考えられるのではないのでしょうか。</p> <p>そのうえで、総合計画は短期の目標ではなく、中長期を見据えた中での計画だと思いません。</p> <p>本格的に人口の減少が始まる前に人口の減少を少しでも抑制していくような施策を計画に取り入れていく必要があるのではないかと思います。特に、住環境を維持していくような施策は、社会インフラの維持から公害対策、農地の荒廃対策といったことまで幅広く考えられますが、住環境が整っていることが人口を維持することには欠かせないと思います。住環境維持のための計画をパッケージ的に盛り込んでほしいと思います。</p> <p>上伊那の中でパイの奪い合いをしても地域としては衰退していただくだけです。他地域からの定住を促すような施策をぜひ積極的に計画に取り入れてほしいと思います。</p>

回答
<p>南箕輪村でも、令和6年の人口動態は自然減、社会減となっており、以前のように人口増が毎年続く状況ではなくなっています。本格的な人口減少が始まる前に、人口の減少を少しでも抑制していくような施策を計画的に取り入れていく必要があるというご意見に関しては、村がこれまで力を入れて取り組んできた「子育て」や「教育」分野について、第6次総合計画でも、施策の大綱2「子育て・教育・文化分野」に各種施策を盛り込み、さらに取り組みを進めていきます。また、住環境を維持させていく施策をパッケージ的に盛り込んでほしいという意見に対しては、計画の中ではパッケージとしては盛り込んでいませんが、施策の大綱3の中でインフラや住環境の整備について記載しており、住環境の維持に取り組んでいきます。</p> <p>他地域からの定住を促すような施策については、施策の大綱6の中で、移住定住対策について記載しています。</p>